

## 北広島市 2023年第4回定例市議会（11月29日～12月20日） 12月11日 一般質問 鶴谷 聰美

質 問	答 弁
1. 平和行政の推進について	<p>1. ロシア・ウクライナ及びパレスチナ・イスラエルの軍事衝突（戦争）について、戦地の惨状が日々伝えられる。早期停戦を願う市民や、将来を不安に思う子どもたちも多いと考える。平和都市宣言をしている北広島市としての見解を伺う。</p> <p>・平和事業を一層進めるため、子どもも大使交流事業における平和記念式典に多くの子どもたちが被爆地広島を訪れることができるよう、参加枠の拡大について、子どもの平和活動を応援する基金の創設とともに提案をしてきた。より多くの市民及び子どもたちとともに、平和の大切さの共有、参加する機会をつくっていくことが重要と考える。この間の平和事業の取り組みについて伺う。</p>
2. 子どもの居場所に関する施策について	<p>2. 「さとっぽー」の利用は、学校の出席日数にカウントされているが、利用状況に関して、各地域の小学校との共有や連携はどのように図られているのか。</p> <p>・「さとっぽー」の利用は、北広島市児童活動センター「さとっぽー」は、8月に西の里地区に開設され、多くの子どもたちで賑わっており、学習・生活習慣等の支援についても市内各地区から利用がある。</p> <p>北広島市児童活動センター条例の設置目的として、児童に対し自己肯定感を育み、将来ビジョンを見据えることができるように、学習・生活習慣等の支援、及び児童に対し、放課後等に健全な遊びの場を提供し、健康を増進し、及び豊かな情操の育成を図るとある。開館から4ヶ月が経過し、現時点までの運営状況について伺う。</p>
3. 高齢者支援と介護に関する施策について	<p>3. 第1回定例会の代表質問において、高齢者福祉と介護施策について、第8期計画の検証を踏まえた実効性ある制度づくりの重要性を提起してきた。高齢者保健福祉計画・第8期介護保険事業計画に基づいた取り組みの評価及び検証として、現時点でのどのように認識しているのか。</p> <p>・小樽市では、戸別にごみを収集するとともに声かけを行い、世帯との触れ合いを図ることを目的として「ふれあい収集」という事業名で行われている。対象世帯は高齢者で歩行困難、病気、障がい、要介護、その他の理由でごみ出ししができない世帯で、年齢制限なし。本市のごみの庭先収集の対象要件について、要介護認定や身体障害者手帳交付のほかに、病気や歩行困難な状態等も勘案し、対象要件の見直しを検討していくことが必要と考えるが、いかがか。</p> <p>・訪問介護及び訪問診療等の駐車について、利用者宅に駐車スペースが運用されており、コンビニの駐車スペースを訪問介護等の事業者が一時的に利用できる協力体制が設けられている。本市の団地団区など高齢化が進む地域では、訪問サービス等専用の駐車スペースを設けるなど、地域事情に応じた駐車場の確保も求められている。訪問介護サービス等の駐車スペースの確保について見解を伺う。</p>